

令和 6 年度 指定管理者評価表

【別紙 5】

施設名： 林業総合センター 木根館

指定管理者名： 大阪府森林組合

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	S	S
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	S	S
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	S	S
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	S	S
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	S	S
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	S	S
	修繕は適切か。	S	S
	備品の管理は適切か。	S	S
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	S	S
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	S	S
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	S	S
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	S	S
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	S	S
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	645,000	725,600	-80,600	681,700	
	自主事業収入	5,000,000	4,258,245	741,755	5,694,874	
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	10,770,000	10,770,000	0	10,770,000	
	その他収入		18,222	-18,222	285	
	収入総額	16,415,000	15,772,067	642,933	17,146,859	
支出	人件費	10,076,000	10,699,053	-623,053	10,618,079	
	事務費	2,552,000	2,620,702	-68,702	2,718,508	
	管理費	438,900	698,539	-259,639	356,615	
	自主事業経費	2,200,000	1,768,404	431,596	2,039,524	
	光熱水費	1,067,000	1,308,140	-241,140	1,046,003	
	リース料	33,660	33,660	0	33,660	
	その他	0		0		
	支出総額	16,367,560	17,128,498	-760,938	16,812,389	0
収支差額	47,440	-1,356,431	1,403,871	334,470	0	

3. 総合評価

自己評価

小学校や放課後デイサービスへ「遠足プログラム案内」を送付したことにより問い合わせが増え、団体利用につながったとともに、インターネット予約の「席だけ予約」は好調で、利用実績は伸び、目標値を超えることができた。

また、奥河内ワークショップに関しては、従来実施してきた内容に加えて、新作の開発や体験を中心としたワークショップの実施などを追加し、様々な視点から「おおさか河内材」をPRできるように取り組んだ。

施設面においては、多目的実習室の空調機器の不具合が、夏以降続いたが、市と調整を行いながら対応し、利用者からの不満の声はなかった。大雨時の雨漏りやウッドデッキ、スロープの老朽化などによる修繕が増えているが、利用者の安全確保のためにスタッフが都度対応した。

1年をとおり、市やスタッフ間の連絡を密にとり、適切な管理、対応を行うことができたと思う。

収支について、昨年度と比べ人件費・光熱費の高騰やウッドデッキ・人工芝などの修繕費により費用がかさんだ。

また、木工室の利用者数は増えることができたが、昨年度より自主事業による外部注文数が減ったため収支が大きく変化した。次年度は利用者数も増やすことも考え、外部注文数も増やせるように努力したいと考えます。

市評価

当該施設運営について、ネット予約を活用することは利用者を増やす上で効果的である。利用料金収入が前年度より増えていることは良い傾向であり、さらに工夫を凝らした取り組みで利用料金増加を期待する。

施設面では、市と指定管理者との修繕における役割を明確化することにより、老朽化が進んでいる施設の効率的な運営ができています。

収支については他の施設の運営等を参考として次年度でプラスとなるよう取り組んでいただきたい。